

令和7年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立馬込小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・児童が主体的に取り組めるような単元計画を設定することで、意欲的に取り組んでいた。
- ・単元の終末で交流活動を設けるなどの工夫をすることで、相手意識をもって活動できる児童が多くなった。

(2) 課題

- ・各々が自由に考えたり、表現したりすることができる一方、全体で話し合う場では、児童の意見を引き出しながら一つにまとめていくということが難しかった。
- ・児童が主体的に話し合えるようにするために、話型や話し合う場の経験などが断続的に必要である。
- ・屋外での活動が、暑い時期に実施することのないように、年間指導計画を見直す。

2 授業改善のポイント（観点別）

・低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・より児童にとって身近な題材となれるよう、生活環境を整えたり、学習計画を随時見直したりしていく。 ・タブレットのデジタルコンテンツを活用し、視覚的に理解が深まるように工夫する。	・観察では、色、形、大きさ、数などの視点を示し、表現する際の語彙が広がるようにする。 ・単元の目標に応じて表現方法を設定し、児童の自己決定を促していく。	・学級全体やグループ、ペア等、積極的に自分の思いや考えを伝える場を設定し、他者との関わりから活動意欲を高め、気付きを深められるようにする。 ・地域人材を活用することで、児童の興味・関心を高めることを促していく。